



olive・heart通信

香川大学男女共同参画推進室ニュースレター

報告①

香大っこサポーター養成講座「説明会」を開催しました。

- 日 時 : 7月19日(水) 13:30~16:00
- 場 所 : 北8号館2階 821講義室、及び集団療法室
- 受講者 : 5名

7月19日(水) 幸町キャンパスにて、香大っこサポーター養成講座「説明会」を実施し、5名の学生が受講しました。

まず、コーディネーターの村上特命講師から、ジェンダー・ギャップの国際比較、民俗学の知見をもとにしたジェンダーイメージの変化の歴史などについてお話しがありました。香大っこサポーターの説明については、主な活動紹介と、活動時の注意事項として個人情報・秘密の保持および傷害保険について、また、託児時の休憩(お昼寝等)の重要性について説明がありました。

次に、託児ボランティアあゆみ代表 梶ヶ谷真知子さんを講師としてお招きし、お話しをいただきました。自分が子どもの頃、どんな子どもだったかを思い出し、色んな性格の子どもがいること、その子どもとの接し方について等お話しいただきました。そして、妊婦体験ジャケットを使用し、妊婦さんがいかに大変かを体験したり、新生児の人形を抱っこして重さを確かめたり、安全な抱き方を教えていただいたりと、その危うさについて学びました。また、集団託児についての注意点、オリジナルのおもちゃを用いてのテクニック等もお話しいただきました。



模擬託児体験実習では3組の親子に参加していただき、9か月~2歳4ヶ月までの4名の子どもたちがやってきました。まず、受講者全員でお母さん方の車までお迎えに行き、荷物を持つなどのサポートをしながらお部屋までを案内しました。

始まってすぐは、やはり子どもたちに積極的に関わっていくのは躊躇があるようで、少し距離をあけて様子を見ている、といった時間がありました。ですが、少しずつ子どもたちも受講生たちもなじんでいき、積極的にももちゃで遊ぶ様子が見られました。最後は、受講者全員でお母さん・お子さんたちを車までお送りし、模擬託児体験実習を終えました。

受講生からは「減多に子どもとふれ合う機会がないから、とても戸惑った」などの感想がありました。



目次

P.1

香大っこサポーター養成講座「説明会」実施報告

P.2-P.3

「サマースクール2017」実施報告

P.4

農学部オープンキャンパス「学生による相談コーナー」実施報告
「未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ」参加報告

「サマースクール2017」を開催しました。

- 日 時：8月4日（金）8：00～18：00
- 場 所：男女共同参画推進室、及び学生プロジェクトスペース等
- 参加者：20名（男の子10名、女の子10名）



8/4（金）に、教職員が養育する小学生のお子さんを対象に、夏休み期間中の「サマースクール」を実施しました。おかげさまで今年度は、昨年度以上に参加人数が多く、定員いっぱいの20名（小学1年生～6年生まで）が、参加くださいました。

最初は、推進室のスタッフや香大こサポーターの学生も含め、一人ずつ自己紹介をしていきました。子どもたちには、名前と好きな食べ物を一つ、教えてもらいました。その後は順番にしりとりをして、少しずつ距離を縮めていきました。



>>>01. 博物館サマースクールレクチャー「ウサギ観察会」

香川大学博物館と農学部 of 川崎浄教先生にご協力いただき、ウサギとふれ合ったり、生態についてのお話を聞きました。実際にウサギを触ったり、エサもあげました。少しおびえているウサギもいましたが、基本的には大人しく、子どもたちも安心して触ることができました。先生のお話も、みんな真剣に聞いていて、質問もしっかりしていました。

また、ウサギについてのクイズにも挑戦し、少し難しかったですが、みんな一生懸命取り組み、何とか全問解くことができました。



>>>02. ジャズと遊び・ふれ合おう♪（ジャズ研究会 Bird land）



香川大学学生サークル「ジャズ研究会 Bird land」にご協力いただき、子どもたちのよく知るサザエさんのテーマ曲や、普段から演奏している曲を2曲、演奏して聴かせていただきました。みんなで手拍子してリズムを取りながら演奏を聴き、演奏後は「すごい!」「かっこいい!」等の感想が、子どもたちから出ました。

演奏以外に学生さんの指導で、実際に楽器に触ったり音を出したりして、みんなとても興味深そうにしていました。



>>>03. かざぐるまを作ろう（児童文化研究会）

午後の始めの時間は、同じく香川大学学生サークル「児童文化研究会」にご協力いただき、「紙コップアーチェリー」と「かざぐるま」を作りました。

紙コップアーチェリーが子どもたちにとっても好評で、作り終えた子から矢を飛ばし始め、四方八方に飛び交っていました…。

的を自分で新たに作ったり、作るものがなくなったら、残った材料でオリジナル作品を作り上げる子もいました。



>>>04. 夏休みの宿題をやっつけよう！

残っている夏休みの宿題を持ってきてもらい、協力してやっつけていきました。みんな宿題を机いっぱい広げ、黙々と片付けていく子や周りの子どもたちとワイワイしながらも着々と進めていく子、「わからん！おしえて〜」と助けを求める子は、香大っこサポーターの学生やスタッフにアドバイスをもらいながら、一緒に宿題を片付けていきました。



>>>05. お昼ご飯と自由時間

お昼ご飯は、みんなで学生食堂に行きました。夏休み中にも関わらず学生さんがたくさんいる中で、何人かの子どもたちが積極的にハヤシライスをのせたトレイを運んでくれました。「いただきます」をした後は、みんなお腹が空いていたのか、ほとんどの子があっという間に食べ終わっていました。

企画間の自由時間では、香大っこサポーター提案のゲームをしたり、お迎えの前はそれぞれが好きな遊びをする中で、最後まで宿題をしている子もいました。



|||||アンケート結果について|||||

サマースクール開催後、参加いただいた子どもたちと保護者の方を対象にアンケートを実施しました。

多くの方に「大変良かった」「良かった」との回答をいただき、中には「たくさん子どもたちが元気いっぱい楽しい夏休みの1日となったと思います。」「“とても楽しかった”と話を聞くことができ、私自身もとても満足しています。職場内ということもあり、子をあずける親として非常に安心感がありました。」「ぜひ来年も開催していただきたいと思います。」といった、嬉しいお言葉をいただくことができました。

また、「子どもの数に対し、大人が少なかったのでは？と思ったので、もう少し大人を配置してほしいです。」「プログラム間の休憩が長かったと言っておりました。」とのご意見もあり、次回に向けての改善点も改めて確認することができました。

農学部オープンキャンパスにおいて、 「学生による相談コーナー」を実施しました。

- 日 時：8月8日（木）12：30～15：30
- 場 所：農学部池戸会館学生・教職員交流ラウンジ
- 相談者：11名



8月8日（火）に、農学部オープンキャンパスを訪れる高校生にむけて、大学院生・学部生が窓口になり、高校生が気軽に相談できる相談コーナーを、今年度も設置しました。

訪れる高校生にとって、いきいきと研究や学業に取り組む大学院生・学部生に出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進路選択の幅を広げ、自身の可能性について考える貴重な時間になったのではないかと思います。

今年度は、約3時間の間に11名の学生と数名の保護者の方が相談に来られました。学生生活・勉強・入試対策などの質問から、サークル・アルバイト、卒業後の就職についての質問など、多岐にわたって相談を受けました。

アンケート回答によると、相談を受けた高校生は皆満足度が高く、より香川大学への関心が深まったことが窺えました。窓口の大学院生・学部生の対応も気さくでとても良く、聞けなかったことや気になっていたことも、あまり気兼ねすることなく相談できたのではないのでしょうか。また、今年は相談者全員が県外からの参加者で、中国・四国・近畿・九州から参加しており、本学への関心の高さが改めて窺えました。



「未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ」 に参加しました。

- 日 時：8月21日（月）13：00～16：20
- 場 所：サンポートホール高松 第1小ホール、及び54会議室



8月21日（月）、香川県主催により開催された、「未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ」に参加しました。

このイベントは、理工系の専門職に関心を持つ女子中高生及びその保護者、または学校関係者らを対象に、女性研究者や技術者から、その進路を選んだ理由や仕事内容について話を聞くことで、理工系分野の専門職について更に興味や関心を深め、進路選択の可能性を広げることを目的として開催されました。

その企画の一つとして実施された「県内大学等によるパネル展」にて、本学からは3枚のパネルを展示しました。

本学の女性研究者（2名）の研究紹介や理系学部所属の在学生からのメッセージのパネル、また、出産後も働きやすい様々な支援や取組みについて紹介したパネルや、2018年4月に新設される創造工学部について紹介したパネルを展示しました。

他にも、香川大学出産・育児・介護支援ガイド、四国の研究者ロールモデル集の配布も行いました。

